

# 東京都民生児童委員連合会「監査役」の選任について

## 1 選任方法と役割

【東京都民生児童委員連合会規程（抜粋）】

第1条から第7条まで（略）

第8条 都民連に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常務委員 若干名
- (4) 監査役 若干名
- (5) 常任協議員 若干名

第9条 会長は、常任協議員の互選による。

2 副会長及び監査役は常任協議員とし、会長が推薦し、常任協議員会で選任する。

3～4（略）

第10条 会長は、都民連を代表し、会務を統轄する。

2～3（略）

4 監査役は、都民連の業務内容及び会計処理を監査する。

5（略）

第11条から第23条まで（略）

## 2 確認事項

- 都民連は東京都社会福祉協議会とは別の独立した団体（人格なき社団＝任意団体）であり、都民連として自律した運営が行われている。
- そのため、事業計画・予算、事業報告・決算等は、都民連の意思決定機関である協議員総会での承認を得ている。
- 一方で、都民連事務局は東社協民生児童委員部が担当しており、その会計処理は東社協経理規程に基づき東社協総務部が行っている。
- 東社協の決算は、東社協としての監事監査ならびに会計監査人の監査を受けた上で、東社協理事会、評議員会での議決、承認を受けることとなっている。
- 都民連としては、①都民連の目的が公益的性格を持っていること、②会費や公金を受け入れていること、③東社協職員が事務を取り扱っていることなどから、都民連としての監査を独自に行うことで、厳正かつ適正な事務を担保する必要がある。

## 3 人数

区部1名・市部1名

## 4 候補者

- 区部：
- 市部：

## 5 今後の予定（令和7年度決算監査）

- 3月期常任協議員会（3月6日・金）にて会長が推薦し選任
- 4月下旬に都民連決算監査を実施
- 5月期常任協議員会（5月8日・金）、協議員総会（5月26日・火）にて監査報告